

7月13日（土）

わたしはあなたに、救いの豊かな恵みを感じてほしい。いついかなるときも完全に愛されている喜びを、味わってほしい。あなたは自分を裁くことが習慣になっている。その基盤になるのは、自分が人の目にどう見え、どうふるまい、どう感じるかだ。

あなたが鏡の中に映る自分の姿を気に入っているときは、そうではないときより、もう少し愛される価値があると感じられるだろう。

物事が順調に進み、自分の行動が適切だと思えるときは、あなたは自分がわたしの愛する子どもであることを信じやすくなる。

失望を感じるときは、自分の内面をのぞきこみ、何か間違っていることがあれば、すべて正そうとしがちだ。

あなた自身を“正そう”とするのではなく、**あなたの魂を愛しているわたしに目をすえなさい。**

自分を裁くことにエネルギーを使うよりも、そのエネルギーを、わたしを賛美することに向けなさい。

